



北海道岩見沢農業高等学校 自然エネルギー班

北海道岩見沢市並木町1-5

厄介者の見方を変えて味方にする！～雪ともみがらの
循環利用による持続可能な農業経営の実現～



R 6 年 7 月 冷却装置に断熱を施している様子

私たちが暮らす岩見沢市は特別豪雪地帯に指定されており、1人あたりの除排雪費用は札幌市の約2倍になります。同時に道内有数の稲作地帯でもあり、精米の過程で排出されるもみがらは余剰状態となり処理方法が課題となっています。そんな地域の厄介者とされている「雪」と「もみがら」を活用し、豪雪地帯における周年栽培を実現させるために、私たち自然エネルギー班は活動を行っています。農家所得の向上はもちろん、冬場の道産野菜確保や新たな北海道ブランドの創出を目的としています。

近年の高温対策としての「雪」利用と冬の暖房燃料を含む「もみがら」の循環利用など、再生可能エネルギーを活用した革新的・持続的な農業形態を実現します！